

コメント

1.インフルエンザ

定点当り39.0人と急増しており、国立感染症研究所が定めた警報開始レベル(定点当り30人)を超えました。安芸区、安佐北区、東区、西区、佐伯区で定点当り30人以上と、特に多くなっています。

2.流行性耳下腺炎

定点当り1.83人とやや増加しています。安芸区4.5人、安佐北区3.7人となっています。

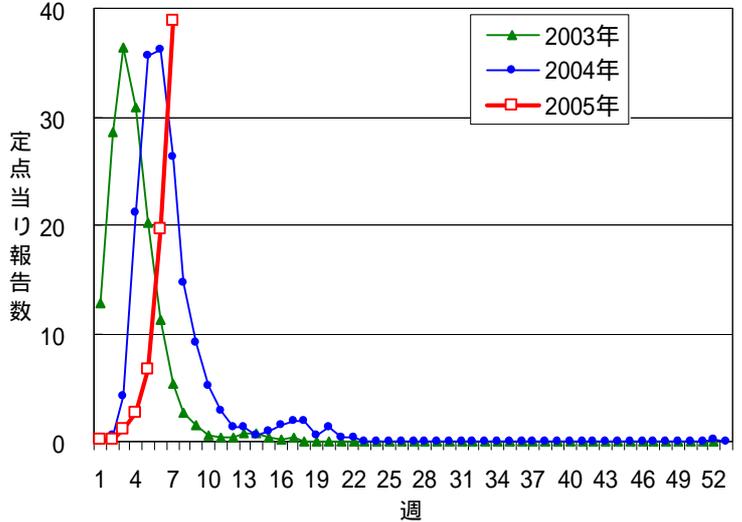
3.感染性胃腸炎

定点当り10.1人とやや減少しています。安芸区では20.5人と特に多く、西区15.3人、東区10.7人となっています。

4.A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.38人と増加しています。安芸区、佐伯区ともに4.0人と特に多く、東区2.0人となっています。

インフルエンザ



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均(過去5年間) (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均(過去5年間) (注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	1441	38.95	13.43	↑	麻疹(注3)	1	0.04	0.07	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.23		流行性耳下腺炎	44	1.83	0.59	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.38	1.29	↗	RSウイルス感染症	1	0.04		
感染性胃腸炎	242	10.08	11.95	↘	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	31	1.29	1.99	↘	流行性角結膜炎	6	0.75	1.03	
手足口病	4	0.17	0.09		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	3	0.13	0.17		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
突発性麻疹	11	0.46	0.71		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.49	
百日咳	-	-	0.03		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	1	0.04	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.08						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37(小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)
(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3)成人麻疹を除く
(注4)オウム病を除く

1類~5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
4	A型肝炎	2	3	男性(50歳代)、女性(40歳代・市外)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん		
																						第3週	第4週
報告数	第3週	43	4	35	476	51	10	3	17	2	-	1	-	5	2	1	5	-	-	2	-	-	
	第4週	99	4	30	471	72	6	2	14	-	-	-	-	32	4	-	8	-	-	1	-	-	
	第5週	245	2	27	348	46	5	3	17	-	-	-	-	36	2	1	10	-	2	2	-	-	
	第6週	728	4	20	318	42	7	4	26	-	-	-	-	31	1	-	7	-	1	1	-	-	
	第7週	1,441	3	33	242	31	4	3	11	-	1	-	1	44	1	-	6	-	-	3	-	-	
	定点当り	第3週	1.16	0.17	1.46	19.83	2.13	0.42	0.13	0.71	0.08	-	0.04	-	0.21	0.08	0.13	0.63	-	-	0.29	-	-
	第4週	2.68	0.17	1.25	19.63	3.00	0.25	0.08	0.58	-	-	-	-	1.33	0.17	-	1.00	-	-	0.14	-	-	
第5週	6.62	0.08	1.13	14.50	1.92	0.21	0.13	0.71	-	-	-	-	1.50	0.08	0.13	1.25	-	0.29	0.29	-	-		
第6週	19.68	0.17	0.83	13.25	1.75	0.29	0.17	1.08	-	-	-	-	1.29	0.04	-	0.88	-	0.14	0.14	-	-		
第7週	38.95	0.13	1.38	10.08	1.29	0.17	0.13	0.46	-	0.04	-	0.04	1.83	0.04	-	0.75	-	-	0.43	-	-		
全国	第5週	16.46	0.21	1.50	9.06	1.95	0.19	0.26	0.62	0.01	0.01	0.04	-	0.96	-	0.02	0.63	0.03	0.02	0.23	0.01	-	
	第6週	29.73	0.18	1.49	7.72	1.98	0.18	0.20	0.59	-	-	0.04	0.01	0.80	-	0.02	0.62	-	0.03	0.19	0.02	-	

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

5類感染症報告状況の推移 (STD (性感染症) 基幹定点月単位報告分)

報告数	広島市	12月	性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
			1月	24	21	3	9	9	0	3	1	2	5	5	0	50	38	12	13	9	4	2	2
定点 当り	広島市	12月	1.22	1.11	0.11	0.44	0.44	0.00	0.00	0.00	0.78	0.67	0.11	5.00	3.57	1.43	4.29	2.43	1.86	0.14	0.00	0.14	
		1月	2.67	2.33	0.33	1.00	1.00	0.00	0.33	0.11	0.22	0.56	0.56	0.00	7.14	5.43	1.71	1.86	1.29	0.57	0.29	0.29	0.00
全国	1月	3.11	1.31	1.80	0.85	0.34	0.51	0.55	0.31	0.24	1.53	1.29	0.24	4.05	2.60	1.44	1.17	0.66	0.51	0.10	0.07	0.03	

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	12	男	2005/02/14	咽頭拭い液	インフルエンザB型
無菌性髄膜炎	0	男	2005/01/01	糞便	コクサッキーウイルスB3型

インフルエンザが警報開始レベルを超えました

広島市内でインフルエンザの報告数が定点当り39.0人となり、国立感染症研究所が定めた警報開始レベル(定点当り30人)を超えました。

インフルエンザ予防のために

- 人ごみを避けましょう
- 外出時は、マスクやマフラーを着けましょう
- 部屋の中は、暖かくし、湿度を保ちましょう
- 帰宅時は、うがいと手洗いをしましょう

インフルエンザにかかったと思ったら

- 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう
- 安静にして、休養をとりましょう。特に睡眠時間を十分にすることが大切です。
- 水分を十分に補給しましょう

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第7週 (2月14日～2月20日)